

政策対話「未来へ伝えたい信州の概要」の実施報告について

1 実施の目的

急速に変化する社会情勢を鑑み、長野県が取り組む政策の課題・方向性について、政策に関係する分野の当事者や一般県民と意見交換を行い、これを政策に反映させる対話重視の政策形成を推進する。

2 テーマ

未来へ伝えたい信州の景色

3 実施概要

(1) 日 時

令和5年12月14日（木）午後6時30分から午後8時

(2) 実施手法

ZOOMによるオンライン開催

(3) 参加者（視聴者）

一般参加者：21名（大学生、地域おこし協力隊員、市町村職員、屋外広告物業者、景観コンサルタント業者、UDC信州職員等）

ファシリテーター：1名

県側：6名（都市・まちづくり課長、都市・まちづくり課職員）

4 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方
1 信州の好きな風景	北信五岳、浅間山、八ヶ岳、富士山、御嶽山、北アルプス、中央アルプス、南アルプス、高社山、小黒山（伊那市）、菜の花公園（飯山市）、ラベンダー園（山ノ内町）、木曽の滝、阿寺渓谷、姨捨の棚田、松本城、長野駅、妻籠宿、藪原祭りなど	<ul style="list-style-type: none"> ・信州らしい美しい景観の保全・育成には地域の方々の関わりが重要であり、景観は人の手で育み、創るという視点で取り組んでまいります。 ・市町村をはじめ住民や事業者など様々な主体と連携し、守るべき景観の範囲、方針等を共有し、広域景観の保全・育成を推進してまいります。
2 県の景観施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・広域景観は様々な主体が連携しないと守れない ・景観法の届出時にもっと多くの人の意見を聴いた方がよい ・県と市町村の目指すビジョンを共有し、守るべき景観の範囲を絞ることが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県外への良好な景観の発信、観光、産業など幅広い分野へ広がる取組み等、今後の景観施策の参考にしております。
3 「景観を守るためにできること」	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村間の連携はもとより、観光、産業など幅広い分野へ広がる取組みがあるとよい ・長野県外への良好な景観を発信していく施策（プロモーション、ブランディング）が大事 ・ワークショップやシンポジウムなどは、住民の自主性の育成や意識啓発になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている長野県景観育成計画の見直しにおいて、ご意見を反映できるよう検討してまいります。